

所屬部隊	國有右二	班	軍司	通稱	號
職役	兵	技官	等	級	尉
本籍地	[Redacted]				
留守擔當者	父				
住所	本籍地				
死亡年月日	昭和三十二年二月一日	破産	甲	此	
死亡場所	山田改容所	分所	甲	此	
死亡區分	病死	甲	此		
死亡事由	肺結核兼急疹				
遺骨遺留品	同昨居所に埋葬				

右現(確)認する
昭和三十一年十一月十日

旧新島部隊三四一〇二
旧官等級大尉
死亡者との関係
現任所
氏名及捺印

鐵道四連隊

辭室行へ死去せしこと聞ひ葬儀に参列す

整理
昭和三十二年三月一日
31.3.6

官

八 林 通	所 部 隊 編	死 亡 者 覺 者 朝 服 者	歸 葬 者	葬 所 號
尉	軍 氏			
	名			
死 元	區 分 事			
赤 痢	由			
廿 四 日 收	場 所			
乙 未 日	軍 日			
甲 日	慶			
日 記	見 由			
	本 籍 地 在 所 氏 右			
埋 葬	遺 留 品			

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(通稱號) 年 第 一 六 七 四 部隊 (214 飛太)

一、徵集年 年 月 日 役種 現後 兵種 歩兵

一、官給(死歿前) 上等兵 (死歿後)

一、氏名 [Redacted] 年 月 日生

一、死歿場所 シハラノ 沼海州 第一 収容所

一、死亡區分並ニ事由 差気口 橋ノ下 命最終 兵ノ意ニ在リ 兼者 是 洞ニ 係リ 死セリ

一、死歿年月日時 昭和 21 年 2 月 10 日 時 00 分 時

一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 22 年 5 月 2 日 元所属部隊名 第 一 六 七 四 部隊

現住所 [Redacted]

元官等級 階級 兵長

氏名、印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲ
クワシク告知ラセ下サイ

宛先 [Redacted]

地方世話部 係

死亡者

個有部隊名

通稱號

徵集年

役種

兵種

官等級

又子扣當者名

留子扣當者名

續有氏名

死之前官等級

遺留品有無

遺留品有無

朝鮮軍第九八六部隊

昭和十六年

現役

第一乙種航空通信兵

陸軍伍長

父

陸軍兵長

無

無

15-12

死亡後官軍級
死亡者履歷

陸軍伍長

昭和三年三月廿四日

後卒業後



工場入社

昭和三年徵兵検査多良職家事従事ス

検査結果第二種ト決定昭和十七年七月十六日

航空通信兵トシテ入隊後三重縣中部第

三三部隊

朝鮮軍第九八七六部隊

右部隊置キ中支隊武呂第一六四部隊轉發

中支方面並ニ滿勤務ニ従事ス

後中支隊為テ朝鮮軍第九八七六部隊

復歸ス終戦ト同時朝鮮ヲソシテ聯貨物船ニ乗船

(昭和三年十月廿七日) 昭和三年元日ウラジオ港着

北港ニ一週間滞留後一日七日頃乘船ソシテ聯貨物船

(船名不明)

15-13

最終學校名

卒業年月日



高年小學校

昭和三年三月十四日

途中小舟附近ニ結水夕々下船此處ニ於テ直ニ
重傷勸下時間ニ服務中内ニ自五時赤痢ト決定
牛當先ニ甲非ナク自十五日九時歎病死ス
15-14

現認證明書

本籍地

現住所

所属部隊

右ニ同ジ

朝鮮軍第九八七六部隊

陸軍伍長

年 月 日生

一死 亡月日 昭和三年二月十五日

一死 亡場所 シベリヤ、サゴウベン、クリクシヤ收容所

一死 亡區分 戦病死

一病 名 赤痢

一死 亡状況

15-15

右現認

昭和二十五年三月十五日

現認者現任所

元所屬部隊

北支隊遺衣第三三〇部隊

兵及

15-16

1976

死者
下
現認者
關係

15-17

1977

一、昭和二十一年三月...
一、昭和二十一年三月...
一、昭和二十一年三月...

混成部隊トシテ行動ヲ共ニセリ

一、本年一月九日ヨウライノ港着リ(ヨコエ一週間)

一、本年一月七日朝ウラゲノ港出航途中ワニ港附近ニテ下船(口下四五度・銃氷死)

一、本年一月七日朝ウラゲノ港出航途中ワニ港附近ニテ下船(口下四五度・銃氷死)

一、本年一月七日朝ウラゲノ港出航途中ワニ港附近ニテ下船(口下四五度・銃氷死)

一、本年一月七日朝ウラゲノ港出航途中ワニ港附近ニテ下船(口下四五度・銃氷死)

一、本年一月七日朝ウラゲノ港出航途中ワニ港附近ニテ下船(口下四五度・銃氷死)

右ノ通り現認ス

現認者住所

元新島部隊

北支隊遺衣第三三五〇部隊

兵長

15-18

1978

英之現認證

私事

君同期生ニテ昭和一九年四月
 飛行學校へ才一斯際軍部候補生トシテ入校
 同年九月迄通致レ才ニ航空軍才ニ練習飛行団
 ニ屬シ終戦直前ハロン才ニ歸戦航空修理廠
 ニ派遣サレ教育中停戦トナリ昭和二〇年十月
 ニバリヤニ渡リシベリヤ・アマール湖・ブラゴエチエンスク市
 ムニテ收容所ニ收容セラレマシタ。昭和二十一年二月
 十五日同君ハ赤痢ヨリ以テ善夫謝トナリ死セタ。本屬
 同君ト汝迄以來同行動ニ同君ノ死セタ確證ハ
 タニ遺品物等持参セズ。昭和二十一年一月七日復員
 致候ニ付此後通申候也。

昭和二十一年二月二十二日

右

[Redacted signature area]

現認證明書

本籍地

所屬部隊

固有名 関東軍第一師團定通信隊
通稱號 滿七五八〇部隊

陸軍伍長

右ノ者昭和三年二月十六日 六時〇〇分

ソ聯ナク州^{ブヤクヤ}牧畜所ニ於テ煤炭火調症ニヨリ歿病死シ

タルヲ現認ス

昭和三年 六月十五日

所屬部隊 九尾東軍無線調査班

官等級氏名 陸軍大曹

現住所

6-12

現認證明書

本籍地

現位所

所屬部隊

死亡年月日時
死亡原因
死亡場所
埋葬場所
埋葬年月日時
埋葬場所

役種 兵種 年次

一死亡年月日時

一死亡原因

一死亡區分

一死亡事由

一遺骨の有無

一遺骸の有無

一遺骸現住所

右相違無キニ証明スル

昭和 年 月 日

現任所

所屬部隊

現認者 官守氏名 陸軍部

2204

9-12

陸軍

死亡證書

本籍地

原隊第十一教育飛行隊

陸軍

昭和三十一年二月二十五日午前七時二十分

以聯邦治功州十一本力所ニ於テ急遽性肺カ大ニテ

死ス

右證明ス

昭和三十一年二月二十五日

第十一教育飛行隊附

陸軍 衛生部

陸軍 衛生部

陸軍

事實(現認)證明書

所屬部隊

固有部隊名

傷病団(分)三九旅団隊

通稱 職名

正曹長

官等級氏名(死亡前)

本籍地

現住所 石川同

右ノ者昭和二十九年

貳月貳拾六日 以八時十分

ノシエト同

トフトツカ快急死ニ於テ 痲死シタルコトヲ證明ス

昭和二十九年

貳月貳拾八日

固有部隊名 第三九旅団隊

通稱 職名 正曹長

本籍地

官等級氏名印

詳細記入

...



急修佛堂

現觀

定

看說印務者言增華苑

右相連十卷出子證頭

長和二年十一月十一日

有現佛所

第一卷... 已為... 作業... 公... 新

現... 印

